

住民の願いを

町政に生かす力です

日本共産党の 3議席は

負担増には、 キッパリ反対！

- ・ 介護保険料の値上げ (21年3月)
- ・ 国保税の値上げ (22年12月)

日本共産党	反対
保守系・公明党 無所属	賛成

日本共産党議員団の提案 で可決され、国や県に送 付された意見書

- 県内全域で子ども医療費の窓口
無料化実施
 - 少人数学級の実施
 - ケア労働者の抜本的な処遇改善
 - 選択的夫婦別姓制度の導入
 - ロシアによるウクライナ侵攻に
断固抗議する決議
- (提出者は議運委員長、日本共産党は共同提出者)

- 今年度「プレミアム付商品券」発行で地域産業を支援。
1セット1万3千円を、1万円で2万セット販売。(プレミアム率30%)
今年8月初めに販売予定。1人4セットまで。
- 空き店舗等活用補助金の拡充。
今年度予算では新規創業者支援家賃補助金とあわせて308万円を計上。
- 町内の全事業者に支援金を支給。(1事業者あたり5万円)
- 住宅用エネルギーシステムに加え、太陽熱温水器なども補助対象に
- 公民館等に網戸やWi-Fi設置。



地域産業の活性化・住民サービスの向上など

- 認可保育園の増設で「待機児童」ゼロに。
今年4月、旧中央公民館跡地に認可保育園がオープン。待機児童はゼロに。
- 放課後児童クラブの増設で待機児童・過密状態解消。
南放課後児童クラブの移設・建て替え(22年4月)や内田第3放課後児童クラブ新設(今年4月)により4年間で、定員を345人から465人に120人増員。
- 旧南幼稚園跡地に「南公園」を設置。(22年4月)
- 子ども医療費の無料化、今年10月から入院分のみ18歳まで拡大。(通院は15歳まで無料)町外(県内)の医療機関にかかっても「窓口払いなし」に。
- 学校給食費の無償化。
20年8・9月の2カ月分、22年9月～11月の3カ月分、23年9・10月の2カ月分。



子育て支援の充実

- 高齢者へのインフルエンザ予防接種を無料で実施。(20年度)
- 障がい者の福祉タクシー券(1枚500円)を、1回の乗車につき1枚から2枚に拡大。
- 緊急通報システムは固定電話だけでなく、携帯電話などでも可能に。
- 水道基本料金の無償化 (20年度4カ月、22年度4カ月(22年度は半額免除))
- 自宅療養者へ食料品・衛生用品などを配布。
- 医療機関や高齢者施設の職員・入所者にPCR検査の実施。



党町議団が窪田町長(左から2人目)に要望書提出。4月12日

コロナ・物価高からいのち・暮らしを守る

みなさんと**力**あわせて**実現**しました